

補正予算特別委員会産業建設分科会会議記録
(補正予算審査)

1. 開催日	平成30年6月7日
2. 場所	議員協議会室
3. 出席議員	大上和則委員長(座長)、吉田知代副委員長(副座長)、 渡辺拓道委員、園田依子委員、足立義則委員、國里修久委員
4. 会議に付した事件	議案第47号 平成30年度篠山市一般会計補正予算(第2号)

5. 議事の経過	
開会	9:25
大上座長	開会宣告
■日程第1 議案第47号 平成30年度篠山市一般会計補正予算(第2号)	
【主な説明】	
まちづくり部より補正予算書に基づき一括説明(地域計画課、地域整備課)	
【主な質疑】	
渡辺委員	景観まちづくり刷新モデル事業に関し、市道城東線の件で当初から国との協議で道路改良となる部分は補助対象外との話が出ていたのでは。
まちづくり部	当初の現歩道と濠側への歩道の設置計画であれば、車道も含めた全体が補助対象であったが、現状や安全性を考慮し整備内容の変更を行った結果、車道部分が、グレードアップと認められず対象外となった。
渡辺委員	車道の部分のグレードアップもすれば補助対象になったということか
まちづくり部	丸山南新町線とか西町前沢田線は、アスファルト舗装の隙間にセメントミルクを注入し固め、たわまない舗装を行うのでグレードアップとなり景観がよくなると認められ補助対象となった、城東線もアスファルト舗装の隙間にセメントミルクを注入し固め、たわまない舗装で行えば補助対象となったと思われるが、事業費が多額となる為、通常のアスファルト舗装との費用比較の結果今回の計画となった。
足立委員	都市計画費に関し、無電中化について、河原町線、大手線も小、中学生の通学路として使用している。通学時の工事対策は出来ているのか。
まちづくり部	全体説明会でも意見を聞いているが、事前に学校と調整する予定であ

る。朝の登校時間後に工事を開始する等、下校時間に関しても交通誘導員をつけ、歩行者等の通行確保を行いながらすすめていく。通行止めが必要な場合は、学校等に相談し迂回路を計画する予定である。

足立委員 城東線の東馬出し西側の張り出し歩道部分の強度は足りているのか、また改修するのか。

まちづくり部 張り出し歩道部分の幅員が 1.5 から 1.6mあるが、歩車道の境界ブロックが波打ったりしているので、張り出し部を再利用し境界ブロックを設置し表面を整正、カラー舗装を行う予定である。強度は、コンサルに現地確認してもらったところ、部材厚の大きなものを乗せることはできないが、現状使用であれば強度試験まではできていないが問題なしと確認している。

渡辺委員 城東線のこと、車道改良なしと聞いている。人の導線の事を考えると、東濠端から河原町へ歩かれると思うが、城跡の中から学校前を通過して城東線に出て、そこから、どう行けばよいか路面サインのようなものができるか。

まちづくり部 城跡の整備と合わせて、アイデアを参考に検討する。

足立委員 城東線の車道幅員が狭くなるようだが大型のすれ違いは可能か。

まちづくり部 商店街通りからフィールドステーション前までが幅員 5.0mで中心線はないが、外側線の外まで入れると 5.5m以上あり大型車の擦れ違いが可能と警察協議で確認している。

足立委員 ゾーン30の表示が薄くなっていることは、要望されていると思うが、今回の改修と併せてお願いしたい。また現在2箇所しかないの間にもう一カ所追加することも含めて安全対策をお願いしたい。

まちづくり部 ゾーン30路面表示については、警察公安委員会との協議で入口のみの表示で中間部の設置は出来ないが、緑を濃くするなど分かりやすい表示にすることで協議し了承を頂いている。今回の整備区間外の箇所になるが、通学路安全対策と併せて検討する。

大上座長 景観まちづくり刷新モデル事業に関して、無電柱化事業で個々の住戸に費用負担は発生するのか。

まちづくり部 費用負担について、各戸への引込は電線管理者が施工し現況の機能回復を行う場合はかからない。但し、個人の都合により受電場所を変更するとか、契約容量を変更する場合には個人負担が必要となることがある。また、現在建柱されている民地から電柱を抜柱した後の復旧についての費用負担については調整中である。

大上座長 引き込み等の費用負担は、補助対象外か。

まちづくり部 民地部分については、民間会社がする工事であるため補助対象外である。

大上座長 街路灯については、町並みにあった風情をかんじられるような配慮をしてほしい。

まちづくり部 現在地元の委員と協議中で、実施時期は来年度となるため、さらに協議を進め町並みに合うものを選定していきたいと考えている。

まちづくり部 市道大手線は堀先生のアドバイスをもらい、地元で協議しながら行っていく。

渡辺委員 地上機器柵が民地に設置された場合の敷地料はどうなるのか。

まちづくり部 官地内に設置するので、発生しない。他市の場合でいえば、用地買収、又は借地料を支払うという形でされるところもある。基本官地内に設置するものだが、柵については道路構造物となり市の所有物、地上機器については、関西電力の管理物件となる。

■日程第1 議案第47号 平成30年度篠山市一般会計補正予算（第2号）

【主な説明】

農都創造部より補正予算書に基づき説明（農都政策課）

【主な質疑】

渡辺委員 担い手支援事業に関し、助成対象者の導入機械に関連する現状の作付け規模と目標規模は。

農都創造部 A社は現状1.9haから2.4ha、B社は1.0haから1.5haに規模拡大される予定である。

國里委員 面積拡大の数値基準が定められているのか。

農都創造部 面積拡大の数値基準は定められていないが、導入する機械が過剰投資にならないよう、導入する機械によって利用下限面積を確認している。

園田委員 農都創造政策官のサポートを得て、新たな特産物の研究はできないか。

農都創造部 農都創造政策官は、週2日の勤務の中、集落営農組織の育成を中心に活動していただいている。今後、集落営農組織をどのようにサポートしていくか、また集落営農組織による農作物の栽培、販売方法、コスト削減など、丹波ささやま農業協同組合のTAC職員のかかわり方も含め、関係機関と協議を進めているところである。

特産物振興は、減反廃止により黒豆や山の芋の生産維持を重点に置いている。新たな特産物の研究については、天内芋や住山ごぼうなど、各産地の特徴ある特産物に対して技術支援を行っていく予定である。

大上座長	市内で要望された件数と採択の基準は。
農都創造部	市内で3件の要望があった。
農都創造部	採択の基準は、ポイント制となっている。助成対象者の農業経営について、「経営規模の拡大を目指しているか」、「個人経営か法人経営か」、女性の参画の視点から「代表は女性であるか」などの項目から、該当する項目をポイント化し、ポイントの高い農業者から順に採択される仕組みとなっている。
渡辺委員	農地一般管理事業に関して、販路開拓は、農都創造政策官の業務に含まれているか。
農都創造部	要望があれば対応していく。
渡辺委員	販路という視点で、市場の進捗状況はどうか。
農都創造部	これまで市場出荷されていた農業者から要望をいただき、篠山総合庁舎の空きスペースの活用として県と協議してきた。市場運営希望者は、利便性から篠山総合庁舎を希望しているが、今後耐震工事があることなど、現時点では長期の活用が難しい状況である。市場再開に向け市も前向きに動いており、方向性が決まれば議員の皆様にも説明する。
渡辺議員	市場運営希望者は、今秋に事業を始めたいという希望を持っている。農都政策官にもサポートしてもらってはどうか。
農都創造部	農都創造政策官は、週2回の勤務で集落営農を中心に、栗やぶどうに関して活動いただいている。市場に関し、より具体的になった段階で必要に応じ相談していく。
農都創造部	市場運営希望者からの相談については、商工会も対応している。経営診断等を行いながら支援していきたいと考えている。
吉田副座長	農都創造政策官の業務として、篠山市へ移住し、農業を始める方に対する就農アドバイスはされているのか。
農都創造部	新規就農される方へのサポートは、関係機関（県丹波農林振興事務所、丹波農業改良普及センター、丹波ささやま農業協同組合、市農業委員会、農都政策課）の職員によりプロジェクトチームを立ち上げ、就農相談、経営計画づくりなどの支援を行っているので、必要に応じて農都創造政策官からもサポートする。

【主な説明】

農都創造部より補正予算書に基づき説明（農都環境課）

【主な質疑】

渡辺委員 市単独治山事業に関して、溪流工整備事業の対象となる施設は

農都創造部	山から出てくる水を適切に下流へ流すため、ふとんかごや水路などの施設が対象となる。
渡辺委員	青線外でも対象になるのか。
農都創造部	青線のあるなしに関係なく、森林内を流れる水流を適切に下流に流せるように行うための事業である。
渡辺委員	今回の補正で対応する箇所については、獣害柵の保全管理対策もあるのではないかとと思われるが、普段は水が流れていないようにも見える。大雨時のみならず、施設の保全目的としても活用できるのか。
農都創造部	獣害柵の保全のみに見えるが、獣害柵の下が宅地となっており、通常の降雨時においても湧水がある。大雨時のみではなく宅地の保全も図ることができ獣害柵の保全もできるため対応する。
渡辺委員	普段は土の中を流れており表面化していないが、大雨時のみ表面に出てくるような場所でも適用は可能か。
農都創造部	流れの有無だけでなく、将来に発生する災害を未然に防ぐために施設を設置できると考えていただけたら良い事業である。
大上座長	今回の補正予算に上がっている以外にも要望地域はあるのか。
農都創造部	当初予算では1地域計上しており、現在すすめているところである。3月末の大雨時に被災し、要望のあった2地域を今回の補正で計上している。
吉田副座長	環境政策総務費に関し、農都アドバイザーが新たに2名になるのか
農都創造部	昨年度は農都政策官1名と農都環境アドバイザー1名であった。農都政策官については、今年度は大学勤務との兼ね合いもあり農都政策官としての勤務日数を確保することが難しいため、農都環境アドバイザーとしてお世話になることになった。もう1名については、昨年度に引き続き水生生物の調査・研究、農村環境の水路整備などに助言いただきたいと考えている。その結果アドバイザーが2名となる。
吉田副座長	新エネルギー・省エネルギー事業費に関し、山の芋グリーンカーテンマニュアルは、どのようなターゲット、場面で配布する予定なのか。
農都創造部	学校、幼稚園等、市民向けの講習会等で配布し、植え付けの方の説明用として配布している。300部で2、3年は対応可能と考えている。
吉田副座長	学校に配布される場合は、学年を指定しているのか。
農都創造部	学校の希望に応じて資料を配布という形をとっており、全ての小学校に配布しているわけではない。学年は学校によって様々であるが、3、4年生で環境学習に取り組んでおり、環境学習の一環としてグリーンカーテンに取り組まれる場合が多い。

【主な説明】

農都創造部より補正予算書に基づき説明（商工観光課）

【主な質疑】

國里委員 観光客誘致促進事業費に関し、デジタルサイネージが補助対象外になり予算減となるが、他の方法で実施できるような検討はしているのか。

農都創造部 今回は補助対象外となったため見送るが、観光庁補助金などもあるので、最終的には、観光客を誘導したり、情報を提供したりするためのデジタルサイネージを自由通路に設置したいと考えている。

吉田副座長 警備会社は毎年同じ会社と契約しているのか。

農都創造部 毎年度、各実行委員会が見積もり入札の上、安価な警備会社と契約する。

渡辺委員 丹波篠山観光ステーションの利用者の行動パターンとして、篠山口駅からの交通手段、目的地を把握しているのか。

農都創造部 JRで来られる方に関しては、路線バス、レンタサイクル、ハイキングという行動パターンであると考えられる。割合としては、手元に資料がない。平成28年度のアンケート調査に交通手段の項目はあるが、行動パターンがあるかは再度確認する。アンケートの項目にあれば、資料提供は可能である。（項目なしで報告済）

渡辺委員 観光客が何を求めてどういう動きをするかということ把握し、情報提供していくのが一番重要だと考える。駅前のバス停があるが、最終目的地の表示だけでなく、主要観光スポットを記載するなど観光客にわかりやすい表示をしていく事が必要ではないか。丹波篠山観光ステーションとの神姫バス、篠山市のコミュニティバスも含め連携の視点が必要ではないか。

農都創造部 観光ステーションに職員を配置することになるので、今後バスとの連携も検討していきたい。表示等については、JRや神姫グリーンバスとも協議していきたい。

足立委員 駅レンタカーの委託の進捗状況は。

農都創造部 委託元のJR西日本と協議中であるが、市が直営で契約する予定である。レンタカーの運営に関しては、事前予約制（ネット等）で申し込まれたものについて、当日丹波篠山観光ステーションで受付し、貸出、返却、整備する予定である。

足立委員 駅レンタカー事業を委託されることによって、業務が増加する。その割に委託料が安価ではないか。車両管理等も含め非常にリスクが高いため、慎重にJRと協議し厳しい目で見たい。

農都創造部	駅レンタカーの先進地である津和野町を視察した。現場に来られた方に関しての事務については、10分程度で対応しておられスムーズにでき問題ないと考えている。但し外国人観光客への対応や、事故等が発生するということが、想定されるので慎重にしていきたい。
足立委員	できうる限り想定を行い、慎重に進めてほしい。
園田委員	受付は、丹波篠山観光ステーション内で行うのか。
農都創造部	そのとおりである。時間がかかる場合などは、エレベーター周りも整備する予定であり、そこにはミーティングスペースもあるので、待合いに利用したいと考えている。
園田委員	レンタカーで貸し出す予定の車の駐車場は、どこにするのか
農都創造部	配車がスムーズに行えるように駅近くに、2台分のスペースを確保したいと考えている。
渡辺委員	レンタカー事業は、市の直営ではなく民間の自動車会社等が関わるのは難しいのか。
農都創造部	駅近隣の自動車会社に聞いてみたが、公的にレンタカー事業をするのであれば何も言わないが、民間業者がするとなれば利害が絡むことになるので難しいといわれている。まずは市の直営で導入し、今後は様子を見ながら検討していきたいと考えている。
大上座長	観光政策官を1名採用するとなっているが、人材確保は可能か。
農都創造部	観光専門員の関係から、JTBにお勤めの英語・中国語に堪能な女性の方を考えていたが、篠山観光のあり方や振興方策へのアドバイスなどを考えると、もう少し専門員と相談しながら考えていきたい。
大上座長	今回の補正で減額となるデジタルサイネージは、様々な言語に対応できるので進めていってほしい。
農都創造部	観光庁の補助事業を申請し、整備していきたい。但し、補助事業なので今年度できるかというのはわからないが、補助事業を活用して整備していきたいと考えている。
大上座長	観光客おもてなし事業に関し、イベント補助金については、警備員経費の高騰や今後消費税の税率改正による増税などにより経費が増加することが予想される。警備員の契約について、安価な価格を重要視すると「安かろう悪かろう」となることもある。主催者側ですべて負担するのではなく、参加者、出展者等に負担を求めてもいいのではないか。
農都創造部	来年度以降になるが、主催者側がすべてを負担するという考えではなく、一つの案として参加者等にも負担金を求める方向で実行委員会の中で協議していきたい。
渡辺委員	観光客誘致事業に関し、丹波篠山観光ステーションへの人の配置は。

- 農都創造部 観光専門員と日々雇用職員の2名である。観光専門員については、本庁で観光施策について対応いただく時もあるので、その際は職員を1名派遣する方向で考えている。
- 渡辺委員 日々雇用職員は、外国語への言語対応は可能なのか。
- 農都創造部 まだ採用確定していないので対応できるかどうかはわからないが、コンシェルジュ等に相談をして語学に堪能な方にお世話になりたいと考えている。
- 渡辺委員 観光宣伝事業に関し、これまでに大河ドラマの誘致をしていく中、提案書の中に篠山がどのように位置づけられてきたのか。
- 農都創造部 篠山をどうといった提案ではなく、人物を要望しているので、篠山で撮影されるかどうかはわからない状況である。各市町のゆかりの地の資料に入れる候補地として、市内3か所ということで、八上城、篠山城から見た高城山、味間の御霊神社を挙げている。
- 渡辺委員 市民に大河ドラマを誘致してよかったと思われるような取組にしてほしい。
- 農都創造部 今回の大河ドラマの原作本は無いので、丹波攻めが必ず出てくるとは限らない。ロケ地として要望はしていくが、間違いなく大河ドラマゆかりの地であるのでまず、そこを積極的にPRしていきたい。

■議員協議

(意見なし)

議案第47号 平成30年度篠山市一般会計補正予算(第2号)

—部長等への確認 なし—

—市長等への質問 なし—

■意向確認

議案第47号 平成30年度篠山市一般会計補正予算(第2号)

—全員賛成—

大上座長 この結果を含め、執行部との質疑、答弁の内容について、座長報告を行いたい。報告については、座長に一任願いたい。

—異議なし—

大上座長 なお、自分は補正予算特別委員会に就任しているため、座長報告は副座

長にお願いします。これに伴い、分科会選任委員1名を補足答弁者として選任する必要があるが、自薦もしくは他薦はないか。

(園田委員に決定)

大上座長　それでは、園田委員を分科会選任委員とし、副座長による座長報告の補助をお願いします。

閉会　　12:45